

経営改善計画期間中の具体的改善策と実施時期等の結果

項目	課題	実施期間	具体的な改善策
面積拡大と栽培時を早める	作業量増加への対応と、生産技術（早期栽培）の向上	4月～3月	面積拡大に伴い作業量が増加することから、利用者の作業能力習得のための教育、台車、フォークリフトを導入し運搬の効率化、選別機械を導入し選別の効率化、自動シーラーを導入しパッキングの効率化を図り、作業量の増加に対応する。 また、早期栽培の資材を新たに購入し作業方法の教育により栽培技術を向上させる。
加工品の製造期間の長期化による製造量増加	原料の早期収穫調整と貯蔵能力の向上	4月～3月	原料の早期収穫し調整を速やかに行う体制を整えることにより、早期に加工品の製造を開始させる。また貯蔵設備を整え、長期に貯蔵できる体制を整えることにより製造期間を長期化する。
経費削減	設備投資とのバランス	4月～3月	昨年に引き、改善のための設備投資はしていきつつも、現在ある設備を改善し有効利用する事により生産拡大に対応しながらも経費を抑えていく。また、整理整頓を実施し、消耗品・資材の在庫を管理し無駄な消費を抑えていく。

(注) 経営改善を行う項目(例：営業体制の強化、経費削減、販路拡大等)を記載するとともに、課題を記載し、その課題に対応するための実施期間と具体的改善策をそれぞれ記載する。適宜欄は追加する。

(計画期間中の見込額)

令和元年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
収益	就労支援事業収益	1000	1700	1300	2400	3000	3700	6000	2300	2600	2400	2400	3000	31800
	就労支援事業活動収益計	1000	1700	1300	2400	3000	3700	6000	2300	2600	2400	2400	3000	31800
費用	就労支援事業販売原価													
	期首製品(商品)棚卸高	2725												2725
	当期就労支援事業製造原価	583	583	583	583	583	583	583	583	583	583	583	587	7000
	当期就労支援事業仕入高													
	期末製品(商品)棚卸高												2725	2725
	就労支援事業販管費													
	就労支援事業活動費用計	3308	583	583	583	583	583	583	583	583	583	583	-2138	7000
	就労支援事業活動増減差額	-2308	1117	717	1817	2417	3117	5417	1717	2017	1817	1817	5138	24800
	支払い賃金総額	2050	2050	2050	2050	2050	2050	2083	2083	2083	2083	2083	2085	24800

(計画期間後の実績額)

令和元年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
収益	就労支援事業収益	464	2028	805	3123	1468	5717	5707	2009	3683	2138	1896	2696	31734
	就労支援事業活動収益計	464	2028	805	3123	1468	5717	5707	2009	3683	2138	1896	2696	31734
費用	就労支援事業販売原価													0
	期首製品(商品)棚卸高													2809
	当期就労支援事業製造原価	3037	228	730	688	640	1069	570	1346	1378	809	742	425	13943
	当期就労支援事業仕入高													0
	期末製品(商品)棚卸高												4041	4041
	就労支援事業販管費													
	就労支援事業活動費用計	3037	730	688	640	1069	570	1346	1378	809	742	425	1277	12711
	就労支援事業活動増減差額	-2573	1298	117	2483	399	5147	4361	631	2874	1396	1471	1419	19023
	支払い賃金総額		2061	1748	1793	2024	1985	1918	1933	1862	2074	2160	3853	23411